

事業名称	旧市のきさき朝市
団体名	旧市のきさき朝市運営委員会
協働の相手方	産業振興課

目的	朝市を開催することで、老舗店舗と新規店舗の店主同士や、店主と来場者が会話をしやすいきっかけを作り、町全体で交流を促すことで姫路駅西エリアへ人の流れを作り、地域の活性化を目指す。また、コンビニやスーパーとは違った顔の見える交流、商売を行ってきた卸売市場に由来した旧市の文化を継承していく。
内容	普段通り軒先で営業している旧市場の店主たちに合わせて、普段は別の場所で営業しているお店を空き駐車場に呼んだり、営業時間がずれている地元のお店にも早めに開けて営業をしてもらい、町全体で朝市を開催する。
事業経過	「旧市のきさき朝市」毎月第3土曜日 9:00～12:00
事業の効果	チラシの作成によって、旧市のきさき朝市の周知範囲が広がり、来場者の幅が大きく広がった。また、来場者が増加することで、出店希望者が増え、各出店者が SNS 等で告知を行うことでさらなる来場者の幅が増えるという広がりにつながった。 来場者の常連化も進み、周辺のお店にも行ってみるなど、朝市開催日以外にも街にやってくる広がりにつながった。 ロゴ・看板・タペストリーが完成し、よりイベントの統一感が生まれたことで、イベントのクオリティも上がり、他県からの視察も数件あった。
今後の展望	今後も引き続き毎月第3土曜日 9:00～12:00に朝市を開催し、旧市エリア及び朝市の知名度のさらなる向上を目指す。 地元の高齢店主と、出店希望者のマッチングにつなげることで、この街の個性を残しながら世代交代に努めたい。

【実施団体の事業総括・感想等】

<p>チラシの作成によって、旧市のきさき朝市の周知範囲が広がり、来場者の幅が大きく広がった。また、来場者が増加することで、出店希望者が増え、各出店者が SNS 等で告知を行うことでさらなる来場者の幅が増えるという広がりにつながった。</p> <p>来場者の常連化も進み、周辺のお店にも行ってみるなど、朝市開催日以外にも街にやってくる広がりにつながった。</p> <p>ロゴ・看板・タペストリーが完成し、よりイベントの統一感が生まれたことで、イベントのクオリティも上がり、他県からの視察も数件あった。</p>

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

<p>旧市場の店主たちに合わせ、「旧市」というエリアの価値に共感したプレイヤーがイベント出店しており、地域資源の再発掘を通してエリア価値を向上させる「リノベーションまちづくり」の理念に合致している。空き駐車場を活用することで近隣住民や商店者に負担を強いることなくイベントを開催できており、まさに「変えずに変える」を体現した持続性の高い取り組みである。</p> <p>「買いもの」という身近な経済活動を通してエリアの課題解決に取り組んでおり、プレイヤー本人が楽しみながらエリアマネジメントに取り組んでいる姿は、中心市街地のみならず同様の課題を抱える地域の先進事例となっている。</p> <p>また、当事業を活用し統一的なロゴを使用した広告物（チラシ、看板、タペストリー）を作成したことで、朝市の一体感（イベント感）がより生まれ、来訪者の増加に繋がったものと思われる。</p> <p>今後も継続して実施することで、エリアのブランド価値が更に高まり、人の行き交うウォーカブルな風景が実現されることを期待する。</p>
